

9 中田切井 (なかたぎりい)

所在地: 駒ヶ根市中田切

築 造: 明治5年～明治7年

管理者: 中田切井水利組合

駒ヶ根市の中田切川左岸側は、段丘が急なために取水が困難で、そのうえ取水権は完全に田切村(現飯島町)で持っていたことから用水路建設はできませんでした。中田切川左岸の赤須村・市場割・小町屋の三ヶ村(現駒ヶ根市)の有志が立ち上がり、中田切川から取水して南原地域の開田を計画しました。「南原開墾の碑」には、安政2年(1855)福沢潤芝(ふくざわじゆんし)等18人が発議し、同5年に役所へ要請したことが記述されています。

田切村はその申し出を断り、その後も平行線をたどる交渉が続きましたが、ようやく明治5年に着工し、明治7年に完成に至りました。

その後昭和53年にかんがい排水事業により改修されました。



駒ヶ根市福岡にある取水口